

〔別 紙〕

様式 1

事業報告書

(自 令和6年11月 1日 至 令和7年10月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人社団 猪熊耳鼻咽喉科
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目(③は社団のみ。)について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

- (2) 事務所の所在地 山口県宇部市中村3丁目5-22

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

- (3) 設立認可年月日 平成 6年 7月 25日

- (4) 設立登記年月日 平成 6年 8月 8日

2 事業の概要

- (1) 本来業務(開設する病院、診療所又は介護老人保健施設(医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

種 類	施設の名称	施設の医療機関コード 又は介護事業所番号	開 設 場 所	許可病床数
診療所	医療法人社団 猪熊耳鼻咽喉科	3510213139 /	山口県宇部市中村3丁目 5-22	な し

- (2) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 6年12月13日 令和 5年度決算の決定

令和 7年10月18日 令和 7年度の事業計画及び収支予算の決定

様式 2

法人名 医療法人社団 猪熊耳鼻咽喉科

※医療法人整理番号

所在地 山口県宇部市中村3丁目5-22

財 産 目 録

(令和7年10月31日現在)

1. 資 産 額 70,615 千円 /
2. 負 債 額 5,270 千円 /
3. 純 資 産 額 65,345 千円 /

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	28,709
B 固 定 資 産	41,906
C 資 産 合 計 (A + B)	70,615
D 負 債 合 計	5,270
E 純 資 産 (C - D)	65,345

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3 - 2

法人名 医療法人社団 猪熊耳鼻咽喉科
所在地 山口県宇部市中村 3 丁目 5 - 2 2 /

※医療法人整理番号

貸 借 対 照 表
(令和 7 年 1 0 月 3 1 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	28,709	I 流 動 負 債	5,270
II 固 定 資 産	41,906	II 固 定 負 債	
1 有 形 固 定 資 産	39,826	(うち医療機関債)	
2 無 形 固 定 資 産	336	負 債 合 計	5,270
3 そ の 他 の 資 産	1,744	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)		科 目	金 額
		I 出 資 金	7,000
		II 積 立 金	58,345
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	65,345
資 産 合 計	70,615	負債・純資産合計	70,615

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4 - 2

法人名 医療法人社団 猪熊耳鼻咽喉科
所在地 山口県宇部市中村3丁目5-22

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和6年11月1日 至 令和7年10月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	80,244
2 事業費用	77,480
本来業務事業利益	2,764
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	
事業利益	2,764
II 事業外収益	5,197
III 事業外費用	
経常利益	7,961
IV 特別利益	2,179
V 特別損失	132
税引前当期純利益	10,008
法人税等	1,856
当期純利益	8,152

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 猪熊耳鼻咽喉科
理事長 猪熊 哲彦 殿

私（注１）は、医療法人社団猪熊耳鼻咽喉科の令和 6 会計年度（令和 6 年 11 月 1 日から令和 7 年 10 月 31 日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注 2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して作成されているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して作成されているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 7 年 12 月 17 日
医療法人社団 猪熊耳鼻咽喉科
監事 賀屋 恭平

（注 1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注 2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」、医療法第 51 条第 2 項に規定する医療法人については、「財産目録、貸借対照表及び損益計算書（医療法人会計基準第 3 条に規定する重要な会計方針の記載及び第 22 条に規定する貸借対照表等に関する注記を含む）、純資産変動計算書及び附属明細表」とする。